

特集

新任医師紹介

江差病院基本方針

- ・とびたにも快適で安全な医療・療養環境の充実をめざします。
- ・地域に開かれ、各医療・保健・福祉施設と連携し、お互いに信頼される関係をめざします。
- ・常に向上心と使命感を持って、職能と医療技術の向上に努めます。
- ・全職員が力を合わせた明るい職場で、チーム医療を実践します。
- ・高い安全性と効率性を兼ね備えた組織運営をめざします。

小児科

前任地…市立函館病院
江差の印象…歴史がある
専門、関心領域…小児科全般
趣味…釣り始めます！
特技…成功しないダイエット
患者さんへ一言…
これまでも八雲3年間、函館3年間と道南の病院で診療を行ってきました。今後は道立江差病院で南檜山の子供たちの健康に寄与できればと考えています。皆さんの信頼を得られる小児科にしていきたいと思います。ご意見などあればどうぞお伝えください。



医師 朝倉 啓文
あさくら ひろふみ

お待たせ致しました。4月から新しく当院に勤務している医師の紹介です。本人に以下の質問についてお聞きしました。この新聞で少しでも早くうち解けて頂けたら幸いです。

質問内容は、
前任地…
江差の印象…
専門、関心領域…
趣味…
特技…
患者さんへ一言…



2019年春号



前任地…市立室蘭総合病院
江差の印象…海がきれいで気持ちいい。
専門、関心領域…外傷全般
趣味…ランニング、お酒
特技…水泳
患者さんへ一言…
函館出身、函館育ちです。檜山でのケガはできるだけ当科でみれるように頑張ります。お困りのことがあれば御相談ください。



医師 下山 浩平
しもやま こうへい

前任地…市立函館病院
江差の印象…街並みが趣深い、北海道最古のお祭りなど歴史が深い
専門、関心領域…循環器内科
出身地…札幌
趣味…旅行、グルメ、温泉、読書
患者さんへ一言…自分の専門に限らず、内科全般と幅広く診療を行い、一人一人に誠意をもって、満足していただける医療を提供できるように精進いたします。



医師 伊藤 良介
いとう りょうすけ

前任地…市立函館病院
江差の印象…風力発電がまわっている。風景がよい。
ドクターヘリが飛んでいるのを見ると風景に合って格好良かった
専門、関心領域…救急集中治療、消化器内科、総合診療
趣味…読書、旅行
特技…本を読むこと
患者さんへ一言…富良野市の出身です。
前任の黒田先生から引き継いで、名前を新たに総合診療科といたしました。テーマは「自分の科ではないといわない」ことです。
道南南檜山の医療介護に貢献できるように取り組み、道立江差病院の果たす役割を強化していければと考えております。
今まで道立江差病院通院中の方も、新規の方も、自分の、あるいは家族の健康問題についてお気軽にご相談ください。よろしくお願ひいたします。



医師 中山 龍一
なかやま りゅういち



最新機器の知らせ

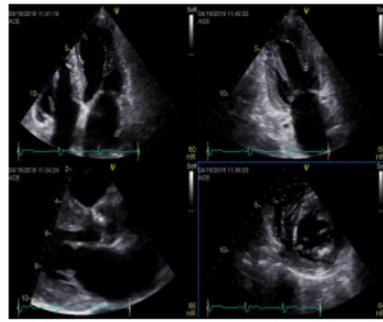
臨床検査科

導入の

今回、高画質で鮮明な画像を描写できる、心臓超音波検査（心エコー検査）装置が導入されましたので、心エコー検査について、少しだけご紹介いたします。

Q1 心臓超音波（心エコー）検査とは？

A 胸部肋間、心窩部に器具（プローブ）を押し当てますが、このプローブからは、ヒトには聞こえない高周波の音波（超音波）が出ます。この超音波が臓器や血管等にぶつくと、反射して器具（プローブ）に戻ってきます。この戻ってきた超音波を瞬時に画像化し、心臓の内部をリアルタイムに把握・観測することが出来る検査です。



疾患、弁膜症、感染性心内膜炎、人工弁機能不全、心筋症、高血圧心、心不全、心膜疾患、大動脈疾患、右心系の疾患、心臓の腫瘍・血栓、先天性心疾患等を観測する事が出来ますが、個々人の体格差や、肺の空気の影響を受け、上手く描出できない場合もあります。

Q2 心臓超音波（心エコー）検査では、何がわかるの？

A 主に心臓表面と内部、心臓につながる血管と血流を描出します。得られた画像から、虚血性心

Q3 心臓超音波（心エコー）検査は痛いの？ 被爆の心配はないの？

A 「エコーガイド下穿刺」等の医師が行う特別な検査を除けば、器具（プローブ）を心臓周辺の胸に押し当てられる程度の痛みを感じる方もいますが、多くは痛みを伴わない検査です。また、放射性物質ではなく、高周波の音波を使っているので、放射線に被曝する心配はありません。

Q4 心臓超音波（心エコー）検査にかかる時間は？

A 通常、15分〜30分程度の時間を要します。



臨床検査技師 五十嵐

Topics

糖尿病教室

開催中

医療の発展と共に寿命が長くなり、ただ命を長らえるのではなく、より元気な状態を伸ばしていくという「健康寿命」といった言葉も定着してきています。それに伴い「運動」に対する重要性が再認識されてきていますが、そこには「転倒しない」「寝たきりに

ならない」といった「運動機能」に着目することが多く、内科疾患に対してはあまり意識されていないように思います。ここ南検山においても例外ではなく、特に糖尿病の患者さんが増加傾向にあります。そこで江差病院では、糖尿病に対する基本的な病態・予防



から投薬、食事、運動等の治療に関する正しい知識を学んで頂けるよう各月の毎週木曜日、12時30分より「糖尿病教室」を会計横のロビーにて開催しております。医師・看護師はもちろん、薬剤師・管理栄養士・理学療法士といった各専門分野からもお話しさせていただきます。無料でお聞きいただけますので、お気軽にご参加ください。



編集後記

新しい時代「令和」が始まりましたね！「平成」が過去の元号なのが未だに実感なく元号を書く場面ではまだ「平成」と書き間違える方もいらっしゃるのでは無いでしょうか。新しい時代となり医療を取り巻く環境や技術も日進月歩で新しくなっていますので、今後ますますに精進を重ねたいと思います。

すえちち

川柳

初ゆめに

妻の退院

夢に見る

萩原エツ子さん

元旦や

たった一人

妻入院

隅田君子さん

初冠雪が檜山にも

じんとこたえる

岡節痛
棚田久雄さん